

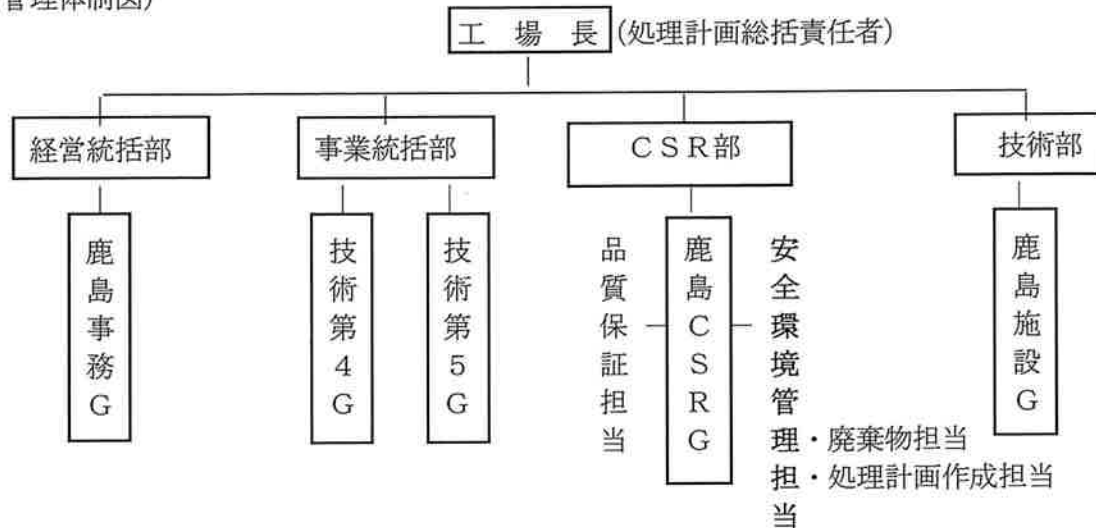
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 25 日	
茨城県知事	殿
提出者	
住 所 茨城県鹿嶋市大字平井字灘 2276-2	
氏 名 A G Cセイミケミカル（株）鹿島工場	
工場長 藤江 彩子	
電話番号 0299-84-0808	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	A G Cセイミケミカル株式会社 鹿島工場
事業場の所在地	〒314-0012 茨城県鹿嶋市大字平井字灘 2276-2
計画期間	2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：E 製造業 中分類：16 化学工業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 36 億
③ 従業員数	120 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【鹿島工場】 汚泥 → 委託処理：脱水・発酵堆肥化又は焼却 → 管理型埋立 廃油 → 委託処理：焼却又は油水分離 → 管理型埋立 廃プラスチック類 → 委託処理：破碎又は焼却 → 破碎・焼却・埋立 廃アルカリ → 委託処理：中和 → 脱水・焼却・管理型埋立 木くず → 委託処理：破碎 → 破碎 ガラスくず → 委託処理：破碎 → 破碎



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取り組み) 産業廃棄物の総排出量は、前年度より 219 t 増加し 1258 t であった。 ・ 製造工程を見直し、製造量あたりの廃棄物排出量の削減に努めている。		
② 計画	【目標】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度よりも本年度は生産量の増加が見込まれる為、各産業廃棄物の排出量も増加すると見込まれる。 ・ 引き続き上記内容の継続実施。 ・ 原単位に注視し廃棄物の排出量を監視していく。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類に関しては、廃棄物として処理するものと有価物として売却できる物とを分別し、廃棄量を削減している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 今後も上記内容を継続していく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
② 計画	【目標】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t	t
	—		
② 計画	【目標】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t	t
	—		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚泥については発酵堆肥化施設を有する再生利用が可能な委託業者に処理を委託している。</li> <li>・優良認定処理業者をなるべく選択し処理を委託している。</li> </ul>		

## (第5面)

② 計画	【目標】 「別紙1のとおり」		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥については、引き続き発酵堆肥化の再生利用が可能な処理業者への委託を行う。 ・汚泥、廃油、廃プラスチック類については、生産量の増加に伴い排出量の増加が予想されるため、処理能力が十分にある処理業者へ委託する。 ・可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者、認定熱回収業者への処理委託をする。		
※事務処理欄			

2024 年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位:t

計画:当年度産業廃棄物排出量の目標値

産業廃棄物の種類	総排出量		自ら再生利用を行った（行う）量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		処理の委託									
					自ら熱回収を行った（行う）量		自ら中間処理により減量した（する）量				全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	自ら直接再生利用した量等を含めた事業場における産業廃棄物の合計量		自ら直接再生利用する量と自ら中間処理を行った後に再生利用する量				中間処理前の量から中間処理後の量を引いた量		自ら直接埋立・海洋投入処分する量と自ら中間処理した後に自ら埋立・海洋投入処分する量			自社内で処理を行わず直接委託した量と自ら中間処理した残さ量のうち処理業者に委託して処理する量		優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）		中間処理後、有効利用されている場合の委託量（委託先から別の業者に売却等される場合を含む。）		認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）		認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への後処理委託量
	①		②+⑧		⑤		⑦		③+⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭	
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
汚泥	978	1,066	0	0	0	0	0	0	0	0	978	1,066	40	44	920	1,003	7	8	5	5
廃油	184	201	0	0	0	0	0	0	0	0	184	201	184	201	0	0	41	47	143	456
廃アルカリ	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	19	0	0	3	3	0	0
廃プラスチック類	72	76	0	0	0	0	0	0	0	0	72	76	15	16	0	0	0	0	0	0
木くず	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0
合 計	1,258	1,367	0	0	0	0	0	0	0	0	1,258	1,367	259	281	920	1,003	52	59	148	461

※ 総排出量＝自ら再生利用を行った（行う）量＋自ら中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量＋全処理委託量

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。